

平成24年度 杉並区地域自立支援協議会「講演・シンポジウム」のアンケート集計

ア、開催について、どこで知りましたか？

- 1、ちらし **24名** 2、広報 **8名** 3、のーまらいふ **0名**
4、その他 **25名** ・社会福祉士会 2名 ・協議会 2名 ・すだち 2名
・職場 ・職場内の回覧 ・施設長からの紹介 ・大学の先生の紹介
・NPOの同僚 ・知人 ・上司 ・作業所 ・オブリガード ・障害者団体
・杉並家族会（ゆるやかな会） ・ボランティアグループの連絡で

イ、内容はいかがでしたか？

基調講演について

- 1、とてもわかりやすかった **7名**
- ・ 法律制定の意図について説明され、判り易かった。
 - ・ 細かく、よくわかりました。この仕組みがうまく動き出すまでに、多くの課題があると思いますが、ネットワークをうまく使ってよいものになればと思います。
 - ・ 相談支援の重要性についてよくわかった。
 - ・ 話し方がわかり易く、具体的な過去の事例などを取り上げて説明してくれたので、頭に入りやすかった。問題点もきちんと提示されていて、主体的に受けとることができた。
- 2、わかりやすかった **21名**
- ・ 今年度～来年度の法改正について、それにかからめた、相談支援の新たな仕組み・役割等について参考になるお話を伺うことができました。
 - ・ 相談支援事業所及び自立支援協議会が、支援体制の中核的役割と認識した。「他人事にしない」という言葉が印象に残った。
 - ・ 色々な課題がとても多いと思いますが、利用者の立場に立って進めてほしいです。
 - ・ 基幹相談支援センターというのは初めて聞きました。詳しく知りたいです。
 - ・ 正面にOHPで出されたものは、暗くて読めなかった。結果的に資料で見ることができたので不要であった。
 - ・ 基幹相談支援センターの説明を詳しく聞きたかったです。
 - ・ 基幹相談支援センターの動きに期待します。
 - ・ 相談のある利用者としては、まず、どこに行ったらよいか迷っていると聞いています。わかりやすい提示をお願いします。
 - ・ 一般の方には難しいことが多かった。協議会や福祉関係者向けに、専門的な話をもっと聞きたい。
 - ・ 自立支援協議会・基幹相談支援センターに係る内容について、話が聞けるとよかった。杉並の取り組みとからめて、話が聞けるとよかった。
 - ・ 関係法令を含め、改正法についてもう少し時間をかけて説明を伺いたかった。
- 3、普通 **16名**
- ・ 制度として知らず、初見のことばかりだったので、勉強になりました。
 - ・ 講師の先生に、杉並の相談支援の実情について、予め情報提供しておいた方がよかったのではないかと思います。
 - ・ 先生自身もあとで述べられていたが、杉並の実態を事前にもう少しわかっていて話された方が、聞く側にはすん

なり入りやすいと思う。

- ・ 資料が読みづらく難しかった。
- ・ 1年遅いテーマ(内容)に感じました。このタイミングでは、具体的な相談支援が見えてこない、利用したくても不安。
- ・ 説明はわかりやすかったが、実際はどうなるのかというところがはっきりせず、机上の話だった。基幹相談支援センターの選定・人材確保などの不安材料が山積み。
- ・ お話したいことが沢山あり、もう少し焦点を絞った方がよかった。

4、難しかった 10名

- ・ 法制度が変わる途上での先行きがよくわからない。内容がわからない等、不安なことが多いということを再認識した。基幹相談支援センターの重要な意味がわかった。自立支援協議会の名前が「協議会」以外は自由になることで、内容があいまいになるような(そうでなくても内容のともなわない所も多いのでは)名前をつけるところも増えるのではと危惧する。
- ・ こちらの勉強不足かもしれませんが、聴いている方々のニーズを超えていたように思いました。
- ・ 自律から自立に。横浜市に続いて、自閉症にやさしい街が標語に。
- ・ 初めての参加なので、こんなにいろいろなものがあるのだと驚きました。
- ・ 難しかったというより、障害のある人・家族の立場から、特に精神障害については不安がある。精神障害はとてもわかりにくく、相談にしっかりのっていただけるのか？支援計画が始まって、見返り・検討が(本人・家族も含めて検討会があるのか)ないと計画が他人事になってしまうのではないかと不安である。相談支援にのせても、計画の状況が病気(精神)の不安定な時に、ACT的にいつでも相談できる態勢でないと、症状に波があることに対処できるのか。そのように支援態勢がないと地域生活ができないと思われるので、きめ細やかな支援(相談事業)を展開してもらいたい。
- ・ 相談支援についてもっと勉強していきたいと思いました。
- ・ 情報量が盛りだくさん過ぎて圧倒された。

5、とても難しかった 2名

- ・ 現在作業所に行っているが、裏でこんな複雑なことをしているとは思わなかった(月1回事務日と言われている日がある)。資料をゆっくり読みたいと思います。特に17ページは参考にしたいです(新法に基づく給付)。
- ・ 基本的なことが解らないので理解できなかった。

その他

- ・ 詳しい話に易しく解明されておりますが、範囲が広いので概念としてどう捕えるかをもっと聞きたかったと思う。
- ・ 行政特有の用語配列に思える語りで、ついていけない面があった。

取り組みについての報告 について

1、とてもわかりやすかった 7名

- ・ 現場の方々の難しさを理解されておられるような話し方だった。
- ・ ポイントがおさえられていて、内容がわかりやすかった。専門用語を使わない説明がよかった。
- ・ 相談支援部会・地域移行促進部会の活動内容がよくわかった。

2、わかりやすかった 30名

- ・ 遅塚氏が言われていたように、相談支援部会・地域移行部会の2つの部会に入りきれないところを、会全体でとりあげ共有するところにも大きな意義があると思った。ネットワークの難しさを主体的な意識を持つことでカバ

ーすること、外部への情報発信の重要性を再認識した。

- ・ 少しずつですが、やってきていると思いました。杉並はやっている！！相談支援事業所やサービス等利用計画を全員が使うことになれば、もっと中身がふくらむと思います。
- ・ 協議会の活動がもっと普段から私たち当事者にみえてくるシステムが欲しい。今のところぜんぜんみえていない。
- ・ ここをもっと詳しく話して欲しかったし、(区の一つの例として)課題をあげてほしかった。
- ・ はじめて杉並区地域自立支援協議会について全体を聞くことができ、とてもよかったです。
- ・ 地域移行促進部会の説明は、協議会の様子がよく伝わってきました。高山さんの説明、いつもとてもわかり易く、また、オープンで良かったです。評価を求めたのはよかったです。
- ・ 高山会長のお話は、協議会の初期のころからの流れや私が抱いていた思いを、思い起こさせてくれるものだった。
- ・ 協議会の第一期からの活動がわかり良かった。地域のネットワークをテーマに、事例が出てよかったですと思う。
- ・ 担当の方達がいつも一生懸命取り組んでいて下さって、有り難うございます。特にこの一年は大変な事と思いますが、頑張ってください。期待しております。
- ・ 取り組みについての報告を聞かせていただく機会が増えることを希望します。
- ・ 協議会に障害者団体が入っていれば、もっと生の声がきけるとと思います。情報をもっとおろしていただければ、と思いました。
- ・ 相談支援部会は、活動内容が具体的に示されていなかったのが残念。地域移行促進部会は、活動内容が具体的にわかった。
- ・ 配布された冊子を熟読してみたいと思った。

3、普通 13名

- ・ 今までの取り組み経過はよかったが、当事者からどんな意見が出たか聞きたかった。
- ・ 活動の様子を伺って参考になりました。
- ・ 要約しすぎていたように思う。もっと詳しく知りたかった。協議会の構成員も、事業所の種別だけでなくどこの事業所なのかも知りたかった。他の事業所などからの意見の吸い上げなどはないのか、ずっと同じメンバーなのか等も知りたかった。
- ・ 地域移行促進部会・相談支援部会のことを、もう少し設置の意味など聞きたかったです。
- ・ 協議会活動の取り組みのくわしい資料が欲しい。

4、難しかった 3名

- ・ 初めての参加なので、こんなにいろいろな物があるのだと驚きました。

5、とても難しかった 2名

- ・ 将来1人暮らし(結婚)を考えているが、行政を使うのも社会資源の1つだとわかりホッとした。勉強不足でスミマセン。
- ・ 一方的に解説があり、あまり理解できずでした。あまり良く理解出来なかった。いまいちの感がある。

その他

- ・ 良い発表であった。促し、現状の理解(当事者がどう暮らしているか)は、いまいちだったと思う。

パネルディスカッションについて

1、とてもわかりやすかった 19名

- ・ とても勇気があるのだなと思いました。ゆっくりではありますが1人暮らしもいいなと思い、いま家族の助けもあり練習中です。それなりに生活出来ているのだなと思いました。

- ・ヘルパーのお仕事はとても大切なんだと思った。相手への生活のぶつ切りになる態度は、よくない計画はよくないと思いました。
- ・とても良かった。当事者の声が一番考えさせられる。
- ・障害の方の切実な悩みを聞くことができた。
- ・貴重な話を聞いて良かったです。ヘルパーさんへの気配りなど、当事者の人が抱える問題や悩みを聞いた。
- ・パネリストの気持ちや、大切にしていることがよくわかりました。自分のスタイルを大切にされていること、尊敬できます。
- ・サポートを受けながら生活することのジレンマ、地域で生活することについて考えるきっかけとなりました。福祉に携わる者として、自分の言動のふり返りとなりました。
- ・障害者の人の思いを聞く(生の)機会があり良かったです。専門職として、真に考えさせられました。
- ・自立生活の難しさを感じました。普通の当たり前前の生活をするのは容易ではないのだなと感じた。
- ・日常生活を成り立たせる基盤になるヘルパーさんの確保、ヘルパーさんの質の問題が大変だと思った。エコマップには出ていなかったふれあい収集や緊急通報システムのような、小さいけれどとても重要なシステムの充実を思った。実際に暮らしている当事者の方の実感によってわかるものが多いと思った。
- ・自らの経験談を大勢の方の前で話されていて、私達ももっと色々考えていかなければいけないと改めて感じました。
- ・当事者の方の率直な意見をきけて参考になりました。
- ・支援者との信頼関係が大切ということがとてもよくわかった。
- ・おふたりから、具体的な暮らしの様子やヘルパーさんの様子等が聞いてよかった。あたり前の生活をするのに、ヘルパーさん等周囲の人に気遣いながらの生活が必要だということがよくわかった。支援の質について考えさせられた。
- ・当事者からの思いが強く伝わってきた。具体的な身近な話までわかりやすかった。

2、わかりやすかった 21名

- ・シェアハウスの選択も。
- ・お二人ともすごい努力をなさっていることが分って感銘しました。一人暮らしをしたいとの思いを、いろいろな社会資源を利用して実現なされたんですね。
- ・菊地さんの雑感からの課題は大きいと思いました。
- ・どんな生活をしていてどんなことに困っているのか、話をうかがうことができた。もう少し詳しい生活の様子を伺いたかった。
- ・障害者の暮らしの中での本音を聞かせて頂く機会があって、良かったです。
- ・障害者がひとり暮らしをしていくことに、当事者も問題意識をもてると思う、と感じました。
- ・“意志決定支援”という言葉では簡単ですが...とても難しい。障害とダブルの壁になっている現実を、どう解決にいくかの仕組みづくりを考えていくことが大切。
- ・当事者の方々のお話・支援者の方々のお話から、あらためて、利用者さん中心で支援を行うこと、それぞれ役割分担しながら顔の見える支援を行うことの大切さを感じました。
- ・障害者の地域生活を支えるシステムづくりは必要だが、本当の意味でのサポートとは、利用者支援者の心のつながりなくしては成り立たないことをご本人の話を聞いて強く感じた。
- ・障害者が自立生活する事は大変な事だと思いました。レベルの段階も色々だと思うが、職員さんもいろいろな面

で大変。これからの自立支援がどこまで届くのか心配。

- ・ 当事者の、支援者に対する率直な気持ちがきけてよかった。
- ・ 地域での自立生活における課題が具体的に示され、よくわかった。また、制度の課題も大きいと感じた。
- ・ 地域での生活の課題がみえたと思います。自分らしい暮らしを実現するために、本当に周囲に気がつかれていることがわかった。会長の、福祉サービスを入れた後の暮らしの視点はまさしくサービス等利用計画であり、モニタリングで、相談支援の役割だと思います。
- ・ 当たり前前に生活することがまだまだ困難があることがわかった。

3、普通 7名

- ・ 菊地さん浅利さん、おつかれさまでした。大変だなあと痛感。
- ・ サービス事業者の立場として「友人の気持ち（立場）」とありましたが、事業者は友人ではないし、事業者としての立場は、サービスを提供する際に「利用者を尊重する」という気持ちが一番重要だと思います。

4、難しかった 1名

- ・ 浅利さんの写真（スライド）がはっきり見えず（照明の関係で）残念でした。

5、とても難しかった 1名

- ・ 具体的なお話が少なかった気がする。地域行政の問題点が明確になった。一人暮らしになってから大変なことがあったと思う。家賃はいくらか不明であった。菊地さんの言うヘルパーとの個人的関係・人間関係について、支援を見て頷いた。

その他

- ・ 一般の障害者として自立支援法とは、とよく解りたいと思っております。
- ・ 現実の社会との乖離を否めなかった。
- ・ 浅利さんの、相手を傷つけないかよく考えてから話していることにジーンときました。障害の子を持つ親として反省します。
- ・ 発表のスクリーンがもう少し明るく見やすいとよかったです。精神障害の方・知的障害の方の地域生活にも触れられるとよかったです。

全体を通しての意見・感想

- ・ 密度の濃い良い講演会でした。シンポジウムは、当事者が出席して下さって現実を感じました。
- ・ 今年も継続して活動していただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ このイベントに関係した人に感謝している。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ 浅利さん青木さんとが、支援する側との絆をつくり上げていき、関係が育っていくような経過がよいと思う。
- ・ パネラーとして知的障害者はむずかしいかもしれませんが、何か良い方策はないのでしょうか？ヘルパーさん側からでもよいかも...
- ・ 大変なことと思いますがめげずに色々話し合いを持たれて、しっかりした、利用者に利用出来るものになるよう頑張ってください。
- ・ これは来年度も続けて行って欲しい。
- ・ 毎年テーマをもって発信する内容でよいと思います。
- ・ 協議会のとりくみについてはよくわかりました。 / 寒かったです。（暖房に配慮を）
- ・ 障害者の方々の意見を直に聞けて良かったです。

- ・ 社会資源を学べてよかったです。さっそくエコマップに書きたいと思います。現在作業所に行っているが（SSTなどで）希望が持てるようになりました。障害者でも結婚出来ると知りホッとできました。
- ・ 慣れないせいか言葉が難しい。
- ・ 今後の相談支援のあり方、当事者のかかえている問題を知ることができ良かった。
- ・ 障害者が自立をすることの困難さ、自立を妨げる因子が、障害への無知ということがつくづくわかりました。ゲンキふじの支援者の粘り強い支援に感じ入りました。
- ・ とても意味ある時間だった。
- ・ 制度がめまぐるしく変わる中で、相談支援の充実など新しい重点施策がでてきているのはわかるが、それが実際これからどうなっていくのか先行きのみえないもどかしさを感じた。実際に地域生活をされている方の発表から、生活している実感が、地域でどのようなニーズがあり、具体的に相談支援の事業所に結びついているのかが見えてきたように思う。
- ・ まだ知らないことが沢山あるんだと思い、自分の勉強不足を感じました。また機会があれば参加させていただきたいと思います。
- ・ 勉強になった。
- ・ 実際のご意見、とても参考になりました。
- ・ 当事者主体のディスカッションはとてもよかった。
- ・ 人生は楽しい思い出作り、「心の旅」に同じでした。
- ・ 福祉もよくやっているのだなど。自分が60代半ばとなり、身体に障害がなくとも、子供や他人に気を使わざるを得ないことが多い。生きるってそういうことだと認めるのも必要だと思っています。いい国に住んでいて感謝。
- ・ 一般区民としてどうしていくかという点があれば、なお良かったかと思っています。
- ・ 基幹相談支援センターや相談支援事業所の話も聞いてみたい。
- ・ 一部の質疑応答時間が欲しかったです。色分けの資料はカラーでお願いしたい。
- ・ 都の23区内の事が良くわかった。
- ・ 休憩がほしかった。
- ・ 障害者との福祉支援の関わる難しさ、限りなく悩みます。それは人と人との関わりが基本です。患者とケア当事者の関係は、法による行政より心の関わりが主題となる場合が多いことに。
- ・ 頑張ってください。
- ・ 質問も少し受けてほしかった。
- ・ 地域生活するご本人と支援者が、対等な関係になる難しさを感じました。菊地さん浅利さんのような声をもっと広く知っていただく機会はないのでしょうか。
- ・ 家族・本人を中心に地域の社会資源が輪になっていますが、それぞれ大に充実させたものにしてほしい。そして各家族・本人の必要に応じてどの線が太くなって支援になるのか、多様性は常に大事です。
- ・ 支援を受けるとき当事者は、支援者との関係を支援者以上に大切にしていること、また、支援者が考えている以上に支援の質を期待していること、当事者の生活の全体をブツ切れでなく役割を担う支援者たちと本人とで話し合えること、その一つ一つがネットワークの構築と思います。地域の生活・施設・就労・保健等の様々なところで事例討議ができるとよいと思います。
- ・ 全体に難しかった。一人暮らしを実現している菊池さんは立派であると考え。実際にはリスクがある。信頼関係が最も重要である。求めるものが違うのではないかと考える。当事者は人間関係を重視する。コマ切れのサー

ビスを推進する。ブツ切りのサービスではだめだ。

- ・ 自分の日々の行いに更に自信がついた

ウ、自立支援協議会について

協議会のことをご存知でしたか？

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1、知っていた 41 名 | { | あることを知っていた 20 名 | 2、知らなかった 11 名 |
| | | 参加委員を知っていた 5 名 | |
| | | 活動内容を知っていた 3 名 | |

今後、協議会に期待することはありますか？

- ・ 協議会を存じ上げませんでした。周知を上げてほしいと思います。
- ・ 申請制度というのが気になります。高齢になると自分で出来るのが不安になります。
- ・ 相談支援事業所の質の確保・サービス等利用計画案が、かたちだけのものにならず、障害者の生活の充実のために本当に役立つものになるようお願いします。今後障害者(家族)の参加は？
- ・ 情報や、今検討していることの過程なども開示して欲しいと思います。相談支援部会で、学齢期だけでなく、年齢の幅を広げた家族支援について考えていって欲しいです。
- ・ 協議会の、年 1 回ではなく傍聴出来るでれる会が開かれるとより詳細が分かり意見も出しやすい、又、意見を吸い上げてもらえるのではないか。
- ・ 当事者の立場ですべてを扱って欲しい。
- ・ 相談支援がどんなに充実したとしても、地域における資源（特に暮らしの場・医療の場）が全く足りません。そこにもっと直接関わって頂きたいと思います。
- ・ これからも、私達個人では力がありませんので、ご苦労様ですが委員の皆様方に色々と頑張ってもらいたいです。
- ・ 本当の意味で役に立つ自立支援協議会に、という高山さんの意見に賛成。
- ・ 今後も、実のある協議会の運営に協力していきたいと思います。
- ・ 「あってよかった自立支援協議会」「役に立つ協議会」めざして共にがんばりましょう。
- ・ 家族による（家族への）ピアサポートをやりたいと思いますので、考えていただけるとありがたいです。
- ・ 障害当事者の方たちの意見を、是非反映したものになるように期待しています。
- ・ 一人暮らしをする時に不安（金銭面で）、希望、元気を与えてもらいたい。もっとセミナーに参加したいので、今後も開いて頂きたい。
- ・ あります。
- ・ 今はわかりません。
- ・ 自立支援協議会の活動についてもっと広報して下さい。
- ・ 自立支援協議会のシンポジウムで、手話通訳と要約筆記がついて点字資料がないのは、情報保障として片手落ちではないかと思う。
- ・ 他地区に住んでいて「自立支援協議会」とは何か、見えづらいところが多いように思っていたが、杉並のように目的・機能がはっきり整頓されていることは「自立支援協議会」を理解する上でとても役に立ったと思う。年度ごとに計画がどう実践されているかも明確に示されているので、今までをふまえての実践に期待している。
- ・ さらなる自立支援を促進して欲しい。
- ・ 自閉症に光を与えていただきたいと思いました。
- ・ 区民に活動内容をもっと知ってもらおう PR をしたらどうか。...わかり易く！！

- ・ 私はメンタル障害関係のボランティアですので、メンタル系の対応は身体や知的障害に比べ、遅れていると思いました。メンタル系は大人になってからが多く、対応が難しいという事を関係者は銘記するべきと感じました。
- ・ 制度が障害種別をなくしているのは理解しますが、それぞれの障害団体ごとにわかりやすい相談支援制度を教えて欲しい。アウトリーチしてきて欲しい。
- ・ 地域移行なり地域定着なりを考える時、「成年後見制度」というのも重要なツールになると思います。“顔の見えるネットワーク”の中にも成年後見人等を位置付ける必要もありますし、サービス等利用計画案を相談支援事業者が作成するにあたって、成年後見人等との情報交換・共有が重要と思います。
入所施設（ケアハウス・GH等）・通所施設（生活介護・就労継続B等）、SS、ヘルプ事業所等、サービス提供事業者の後見制度に対する理解・活用などの取り組みも必要と思いますので、ぜひ相談部会・地域移行部会で取り組みをお願いしたい。
- ・ これまでのもの（積み重ねてきたもの）を発展、展開させていって下さい。
- ・ 精神の老化している人達の保護をすすめてほしい。
- ・ 一般参加者（メンバー以外の福祉関係者）も会議の内容をみて、コメント・意見（リアルに）その場でつぶやくことができたらいいです。
- ・ もっと身近な存在と理解されるよう、広報記載を希望します。
- ・ 活動内容のくわしい事がわからない（情報が伝わっていない）。
- ・ 障害者との関係が見えない。
- ・ 個別的・専門的なネットワークからはずれている障害者が多いのでは？
- ・ 継続を期待する。ゴールへ向かって継続して下さい。
- ・ 今後、高齢化に伴い生ずる（地域で暮らす時）課題について、特にGH・アパートで暮らす本人が体調を崩した時の医療との連携、入院したりした時の対応、障害種別にかかわらず必要な場合に、訪問看護できるシステム等、例をあげたり考察した内容・課題を教えてください。
- ・ H25.4～の法律施行で、協議会の構成員に「障害者及びその家族」となっています。ご本人は以前から構成員としてご活躍ですが、杉並の場合家族が構成員に入っていません。他地域では、親の会・団体等の代表者もメンバーになっていますが、杉並ではどのようにお考えでしょうか。
- ・ もっと定期的に活動報告をしてほしい。
- ・ 具体的にもっと知りたいのです。もう少し個別対応が必要であると考えます。
- ・ 働く場を共に考えて一緒につくりたい（そういう機会を与えて欲しい）

工、立場

- 1、障害当事者 9名
- 2、福祉関係者 25名
 - ・ 協議会委員 ・ サービス責任者 ・ 支援員 ・ B型事業所 ・ 精神 ・ 支援センター ・ 作業所連絡会
 - ・ 社会福祉士（成年後見人） ・ 成年後見 NPO 一作会運営委員 ・ 居宅介護支援事業所ケアリッツ杉並ケアマネージャー
 - ・ 北の元事務局
- 3、学校関係者 4名
 - ・ ルーテル学院大学学生 ・ 医療系大学教員
- 4、その他 18名
 - ・ 障害者家族 5名 ・ 親 3名 ・ ボランティア ・ メンタルケア のボランティア ・ 学生